



七師參(四)第二四號

樺太ニ於ケル旭川聯隊區司令部々員事務所ノ
事務ニ關スル件回答

昭和十四年六月二十日 一田守第七師團參謀長 師木 繁二

兵務局兵備課長 小松 一彦 殿

六月十二日附兵備第四八九號ニ依リ照會ノ首題ノ件左ノ通回答ス

左記

一、太田車藏少佐ノ管掌シアリシ事務(昭和十二年十一月十七日參訓
第一二三號及同年十一月十九日參密第五五三號第一ニ依ルモノ)
ハ昭和十四年六月七日附大陸訓第一〇七號參謀總長指示ニヨリ六
月十日其ノ武施(一)關ト共ニ樺太此成旅團司令部ニ移管セリ

旅團トシテハ同少佐從來ノ業務ヲ中絶セシメサル爲當分其實施機
關ト共ニ現地ニ位置シ其業務ヲ繼續セシメアリ

二、本件ハ旅團司令部樺太移駐ノ時期迄可記ノ通り取計フノ要アルヲ
以テ當分(後任者トシテ適任者ヲ得ル迄)副官業務ハ部附ヲ以テ
代理セシメアリ

三、同聯隊區司令部事務所ノ名稱ハ旅團司令部出張所ト改稱スルヲ可
トス(當分ノ同部内ノミノ名稱トシ部外ニハ表ハサス)

四、樺太ニ於ケル聯隊區司令部ノ業務ハ旭川聯隊區司令部ニ於テ主ト
シテ直接取扱アリテ同少佐ノ得出ニ伴ヒ後任及事務所ヲ置カサル
モ目下ノ處業務ニ就キ支障ナシ但シ將來ニ於テハ本年三月二十七
日參謀長會ニ提出意見(別紙ノ如シ)ノ如ク兵事部ヲ設置スルヲ
可トセン

參謀長會議提出意見

一、樺太ニ師團長隷下ノ機關トシテ兵事部ヲ設置シ同部ニ於ケル徴兵
動員と呼、在郷軍ハノ指導等ヲ行ハシムルト共ニ師團司令部ト現
地トノ連絡機關トセラレ度

理 田

樺太ノ位置兩絶シ而モ交通往々杜絶スルヲ以テ現下時局ニ鑑ミ
軍部ト樺太廳トノ連絡ヲ密ニシ同島ノ防備ニ遺憾ナカラシムル
ト共ニ動員召集等ノ事務ニ迅速圓滑ナラシムルヲ要スルヲ以テ
ナリ

而シテ該兵事部ハ長大佐一、副官少佐（大尉）一部員中（少）佐
一、尉官三部附下士官四主計尉官一、同下士官一、判任文官一ヲ以テ
スルヲ可トセン

極秘

發送主任

官令司守留
 將少附部令司
 謀參守留
 長部務主
 官副守留
 任主
 任主寫淨
 昭和四年六月九日
 昭
 月
 年
 日
 發

名 件
 樺太ニ於ケル旭川駐隊區司令
 令之印々之事務
 旭川駐隊區司令
 通牒
 旭川駐隊區司令官
 部 係 關
 參謀部
 副官部
 司令部附
 兵器部
 經理部
 軍醫部
 獸醫部
 法務部
 名出差
 冬守保良

從來旭川駐隊區司令官之印々トシテ樺太ニ於テ勤務中
 ナリシ太田軍藏少佐ノ管掌セル事務ハ同少佐ノ
 樺太混成旅團別隊長トシテ其官實施職務ト
 其ニ同旅團司令官トシテ其官實施職務ト
 依テ通牒ス

陸軍

極秘

極秘

陸軍

樺太ニ於ケル旭川駐隊區司令部之員
 事務所移管ニ關スル件 通牒

昭和四年六月九日
 第七師團參謀長鈴木繁二

第七師團經理部長
 旭川駐隊區司令官

從來旭川駐隊區司令官トシテ樺太ニ於テ勤務
 中ナリシ太田軍藏少佐ノ管掌セル事務ハ同
 少佐ノ樺太混成旅團別隊長トシテ其官實
 施職務ト共ニ同旅團司令官トシテ其官實
 シレタルニ付依命通牒ス

I. P. S. FILE UNIT

DATE: _____ 1948

I. P. S. Evidentiary Document Number _____

has been received in the Office of the Clerk of the Court.

Signature: _____
For Clerk of Court

No originals
passed
copy only